

川崎町のマンション

## 大地震想定し防災訓練

### 265世帯参加 避難や消火手順確認



火災を想定した訓練を繰り広げる住民  
川崎町2

大地震を想定した防災訓練が16日、明石市川崎町2のマンション「ファミリールハイツ明石」であった。全約600世帯のうち265世帯の住民が参加し、避難や消火の手順を確認した。

同マンションは約1600人が生活する。訓練は住民でつくる自衛消防団が毎年企画し、自治会や管理組合が協力して開いている。

大地震の後、大津波警報が発表されて解除されたという想定。参加者は体の不自由な人を階段で1階まで避難

させたり、ベランダの仕切り壁を蹴り破る体験をしたりして災害時の行動を確認した。

また、消防隊員が自動体外式除細動器(AED)の利用方法を説明したほか、住民による豚汁の炊き出しも行われた。

避難誘導などを担当した森本光雄さん(59)は「訓練を重ねて手順を何度も確認し、いざというときに役立たい」と話し、炊き出しをした松川礼子さん(56)は「住民同士が互いに絆を深める機会になった」と振り返った。

(井原尚基)



# 講演で被害防止法学が

## 川崎町のマンション

特殊詐欺事件の被害を防ぐことを目指した講演会がこのほど明石市川崎町2の大規模マンション「ファミールハイツ明石」(約1600人)で開かれ、住民約60人が明石署員の説明に聞き入った。

住民でつくる「ファミール

被害を防ぐ方法を学ぶ住民

川崎町2

## 60人参加 明石署員が特徴説明

コミュニティクラブ(一瀬充弘代表)が、安心できる生活環境づくりを目指して開いた。同署生活安全課の尾内博警部補は、市内外で近年発生した詐欺事件の特徴を説明。少額の生活費をだまし取られる例も目立つことを強調し「詐欺の犯人は声を録音されるのを嫌がるので、留守番電話にしておくのも一つの手」と被害防止策を述べた。

(井原尚基)



発行所

神戸新聞社

郵便番号 650-8571

神戸市中央区東川崎町

1-5-7

<http://www.kobe-np.co.jp/>

電話 (078) 362局

報道部	7040	文化部	7044
経済部	7094	販売局	7066
運動部	7095	営業局	7081
映像部	7047	地域活動局	7086
写真部			

ご意見ご質問は読者サポートセンター

078・362・7056

月~土 10~17:30(日祝休み)